



「ワットサム」とはアイヌ語でワット(にれの木)・サム(傍)という意味で、わっさむの語源です。

# 議会だより

## 第69号

2012年11月5日発行

### 9月定例会

一般質問に6議員が登壇 ④ ~ ⑨

こんなことが決まりました ② ~ ③

行政報告 ⑩

臨時会・Topic議会 ⑪

三笠山大学との懇談会 ⑫



▲コンバインによる稲刈り作業(米の成長を追跡)

# 合計5,400万円を補正

## 平成24年9月19日～20日

### 補正予算

#### 【一般会計補正予算】

(全員賛成可決)

主な増減は左表のとおりです。

TvH視聴に向けて、西和サテライト局の共有設備購入と改修工事に伴う増額。

大雨に伴う河川の溢水や農地の冠水など計40箇所への復旧費、修繕料の増額。

安全確保のため、ワツカウエンナイ川改修工事の区間延長による増額。

7号道路改良工事は、補助金の交付決定に伴い減額となっています。



災害認定を受けた箇所

### 【介護保険特別会計補正予算】

(全員賛成可決)

介護給付費負担金、介護予防事業交付金、包括的支援事業交付金がそれぞれ精査され、国等への返還に伴い増額補正がされました。

### 委員会付託

【平成23年度国民健康

保険町立和寒病院事業会計決算認定】

【国民健康保険町立和寒病院事業会計の平成23年度未処理欠損金の処理】

町立病院事業会計に係る決算と、決算に係る未処理欠損金の処理を、議長と議会選出監査委員を除く、8名で構成される決算審査特別委員会を設置し、付託のうえ閉会中に審査することとしました。

### 報告

【平成23年度和寒町一

般会計及び特別会計歳入歳出決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告】

和寒町の財政状況は健全である旨の報告がありました。

### 人事

【教育委員会委員の任命】

(全員賛成同意)

西町の吉田隆宏氏を任命することに同意しました。

吉田氏は平成20年に任命されており、再任で2期目になります。(任期4年)



吉田 隆宏 氏

## 次回の定例会は12月です。議会を傍聴してみませんか？

議会の傍聴は、傍聴者受付簿にお名前と住所を記入していただくだけで、面倒な手続きは必要なく、どなたでも傍聴できます。

町政を知る良い機会ともなりますし、皆様の暮らしや、より良い町づくりを議会とともに考えてみませんか？みなさんのお越しをお待ちしております。

詳しくは議会事務局へ TEL32-2436

# 災害復旧・予防対策に

## 9月定例議会

### 一般会計

※ 1万円未満切り捨て表記

修正前の額	修正額	修正後の額
45億3,661万円	1,027万円	45億4,688万円
主な増減内容		
○西和サテライト局改修工事		160万円
○設備購入費（西和サテライト局TVh関連）		142万円
○介護保険特別会計繰出金		△ 154万円
○修繕料（生ゴミ処理場トラックスケール）		230万円
○7号道路改良工事		△ 4,790万円
○ワッカウエンナイ川改修工事		3,900万円
○修繕料（災害復旧）		1,000万円
○農地・農業用施設災害復旧事業補助		500万円

### ◆こんな質疑応答がありました◆

【一般会計補正予算】

**問** 農地・農業用施設災害復旧事業を2回、3回と申請している人がいるようである。

通常の維持管理業務を怠っている場合もあると思うので、しっかりとした認定をしてもらいたい。

**答** 現場の状況や農業者の維持管理の努力とも照らしあわせながら判断していきたい。

**問** 災害復旧の認定の考え方を伺いたい。

畦が崩れて側溝が埋まった場合、側溝は町の施設として復旧することと良いと思うが、畦自体は農家の私的な農地となる。そういう部分の区分けはどのようになっているのか。

**答** 圃場整備の工事が終わってから1年は保障があり、工事の不備が原因だと業者に復旧してもらおうという場合がある。

豪雨等の場合は災害復旧になるが、状況によって異なるため、現地を見て、内部で検討となる。

**問** 西和サテライト局の設備の関係で、固定資産の評価はどのようになるのか。

**答** 民放4社に加え、TVhの分を町が新たに取得することになるため、民放の持ち分比率の関係で、NHKの固定資産税は減額となる。

**問 今後の少子化対策は**

**答** 住んでよかったと思えるまちづくりを目指す



金谷浩幸議員

**問 豪雨災害に対しての予防対策は**

**答** 迅速に対応できるように関係機関との連携を図る

更なる子育て支援対策は

本町は若年層の町外への流出により少子高齢化が進み、高齢化率平成24年5月末では39・42%となり本格的な超高齢化社会を迎えている。

これらの事に対し、各種対策を講じているが、特に子育てに対し、更なる支援で子育て世代の定住促進は図れないか。

伊藤町長

少子化対策としての子育て支援を重点施策として掲げ、子ども館や保育所の整備を進めるとともに、妊婦健診料助成の上限廃止、保育料の軽減や中学生までの医療費無料化など子育て世代への経済的支援を進めてきた。世代を問わず、定住促進を進めるためにはこれまでに展開してきた各種子育て支援の維

持・充実を図るとともに、保健福祉や雇用を含めた産業の振興および生活環境の整備などを一体的に進めなければならぬ。

実情に則した施策の展開に努めながら、本町の魅力などの情報発信を進め、子どもから高齢者まで住んでよかったと思えるまちづくりを目指し研究研鑽に努めていく。

○再質問

現在の保育基準は『保育に欠ける者』ということで、第2子が生まれた場合、上の子が3歳になるまでは一旦退所してもらうという制度になっているようである。

町民からも、何とか引き続き見てもらうことはできないのかという要望も強いが可能か。また、保育料を無料にしてはどうか。



板橋保健福祉課長

保育所は、保育に欠ける者が優先となるので、その方向で入所を進めている。

ただ、3歳以上は幼稚園もないため、保育に欠けなくても現在25名が入所をしている。

指摘の部分は、3歳未満児の部分だと思いが、何とか職員のやり繰りをしながら、ギリギリの中でそのまま保育を続けて、退所には至っていないという状況である。

実際に保育に欠ける、優先する者が発生したときには保育所の性質上そういうことがあるということも、ご理解いただきたい。

伊藤町長

財政の健全性を堅持していかなければならない、何が一番可能なのかということ、全体的に検証し、研究もしていかなければならないと思っている。

早急な

再発防止策を

近年大雨による川の越水、畑の冠水等被害が急増している。

被害があつた場所は迅速に復旧対策を講じてはいるが、今後地球温暖化により雨量が増える傾向にあると言われている。

ある程度被害が想定される場所も判断できることから、それらの場所に対しての予防対策が必要と考えるが。

伊藤町長

豪雨対策に対しての予防では、国や道が管理する施設で、必要な対策を講じるようこれ

までも要望をしてきた。特に懸案のマタルクシユケネブチ川については、今年度、洪水対策として緊急的に断面拡幅工事を実施する、という連絡を道から受けている。

国道40号通行止め区間の冠水箇所も国の機関に現状を訴えてきたが、この度、改善に向けた調査をしている。

和寒町が管理する河川も現場に則した必要な予防対策を講じ、未改修河川の改修もスピード感を持って取り組んでいく。

**※保育に欠けるって？**

保護者が仕事等により児童を保育することができず、同居の家族も保育出来ない場合を指します。

中道眞佐義議員



**問 情報過疎地域の解消を**

**答 改善に課題は多いが検討したい**

**問 農業の後継に独自対策を**

**答 不安なく就農できる仕組みを検討したい**

情報過疎地域の  
実態と解決策は

本町では10月より一部地域を除き、TVhの視聴が可能となり、また、市街地区の電話に近々光回線が導入されるなど通信環境整備が進んでいる。

一方では、未だにインターネットや携帯電話の接続に不便を強いられている地域があり、改善が求められているがその解決策は。

伊藤町長

市街地から遠い地域では携帯電話等の利用ができない場所があることは承知している。改善に課題は多いが将来的には利便性向上に向け検討を進めたい。

○再質問

通信事業者は民間であり、採算が合わない事業を起さないと。しかし、通信を取り巻く環境は目まぐるしく

く進化しており、取り残されはしないか。



西和サテライト局

安孫子副町長

国は以前、全国をブロードバンド化する計画を打ち出したが、一時的なもので終了した。今は民間の通信事業者に改善してもらおうようお願いしている。今後も順次、改善を求めていきたい。

和寒町独自の  
農業後継者対策は

本町では今年、国の農業担い手・後継者対策に基づいて関連事業を見直したところであ

るが、国の事業は新たに就農する者に重きを置いた施策であり、経営面積の広い本町では実効が上がらないと思う。

伊藤町長

町内にも新規就農者の確保を求める声が多いので、受け入れ農家支援と新規就農者の生活支援補助を導入した。また、これまでも、

本町独自の後継者対策として、様々な補助や活性化センターへの研修生受け入れ事業を実施し、十分な成果を上げている。

今後も農業の将来に夢を持った担い手・後継者が不安なく就農できるように仕組みを検討していきたい。



和寒町の豊かな大地

○再質問

国の事業では新しい就農者を求めているが、本町ではまず、現在の農家の子弟等に後継者となってもらおう対策が必要と思う。

一例として、後継者が農業系の大学等に進学する場合、奨学金を用意し、就農確認後、返済を免除する。

また、活性化センターの研修生には、その研修期間内に、海外や国内の先進農家等で勉強する機会を与える等、現在ある事業を弾力的に運用する事ですべくても実施できそうだがどう思うか。

伊藤町長

国の新規就農対策では、大規模に農地を持つて農業を始めることは大変だと思うが、もし希望者がいれば町として何らかの支援を考えていく必要性はあると思う。

また、提案の奨学金や研修の件は今後の参考にしたい。

**※ブロードバンドって？**

インターネット回線の高速・大容量化を指します。ホームページを待ち時間なく見れたり、ダウンロードの時間が短縮するなど、インターネットが快適に利用可能となります。



佐々木広行議員

**問 公共施設の周辺整備は**

**答 実態を把握してから来年度で対応**

**問 人口減の歯止め対策は**

**答 雇用の場の確保や子育てのできる環境整備等に対応**

公共施設の  
周辺整備は

今年度の雪は、降雪量は

は平年以下だったにも関わらず、町民の皆さんは雪はねに苦労した。内容を分析したところ、1月19日から2月末までは寒さが厳しく、そして4月20日には降雪となり、融雪が4月25日までかかった。

農業の播種作業も一般的に遅れた原因でもあったが、春先と夏の天候で作物は回復した。庭木などの雪害があり、枝木も折れ枯れている木も相当出ている。公共施設などの庭木の整備について、素人では判断がつかないところがあるので、プロ庭師に判断を依頼してはどうか。

伊藤町長

今年の雪は、特に最後に降った雪が湿雪だったため、公共施設にある樹木の枝を折ると

いろいろな状況が散見されている。各課には、来年に向けて、公共施設内の樹木や折れた枝の整理等を指示している。

本町は、ずっと桜の木を植樹しており、今が見頃の時期となっているが、枝が伸び放題、枯れた枝もそのままであり、植樹していただいた方々の思いが反映されていないと感じている。

今後、専門家に見てもらおう方法もあるが、どこかの機関に担って

もらうことも必要であると考えます。

○再質問

雪解けにまつわる関係で、パークゴルフ場

であるが、今年は芝が非常に傷んでいる。

本町では、お金をいただいてプレーをしていることから現状では問題があると思うが。

星教育長

春の終わりから夏にかけての異常気象で、全く雨が降らなかつた状態が続いたが、指定



融雪の遅れにより各施設で散見される雪害 (写真はパークゴルフ場の芝の状況)

管理者の管理状況は、

はげたところには種を蒔いたり目土を打ったりして対応したが、雨が降らず現在の状況になった。

あのまま放っておくことにもならないので、専門業者に来てもらい改善策について検討してきた。

来春に向け、対応を取っている最中である。

人口減の  
歯止め対策は

人口減少予測が過年度に発表されたものによると、西暦2035年には、本町の人口が2027人と推計されている。

何としても人口減に歯止めをしなければならぬと考えるが、町長の所見は。

○再質問

最近では企業誘致の声は聞いていないが、本町の取り組み状況は。

伊藤町長

企業の方と接触している部分はあるが、まだ具体的にどここうという話ではない。

今後機会あることに進出可能な企業と接触してゆく。

伊藤町長

本町では第5次総合計画で、西暦2020

下條美恵議員



## 問 公共施設改修整備の今後は 答 複合的な施設を目指して、 健康づくりの機能を検討

保養センターを  
『健康の駅』に  
再建しては

町の中で憩いの場が必要との考えを共通に持つ中、地域住民の健康維持・増進を目的とした、集まる人たちが自由に交流できる交流拠点として、保養センターを『健康の駅』として再建する考えはないか。

伊藤町長

日常生活に密着した憩いや交流、健康づくりの場を兼ね備えた複合施設を目指す中、健康管理支援・健康相談・健康づくりは町立病院や保健福祉センターが担っており、同様の性質をもった施設を分散して持つことは慎重になるが、保養センターに健康づくりの機能を持たせることは検討の余地がある。



道内唯一の『健康の駅』（留萌）

○再質問

保養センターでは月に一回かわり湯を実施しているが、利用者数が増えているとのこと、今後回数を増やすことや日中の開館時間の見直しの考えを検討としては。

広田住民課長

かわり湯の実績は、4月39名、5月31名、6月24名、7月38名、8月32名となっている。開館時間については、条例も絡んでくるので、今後の検討とさせていただきます。

利用者アンケートでも開催を望む声がある

ので、今後も継続して取り組んでいく。

研修館『楡』の  
改修予定は

開設から22年、何度か修理・改修を行っている。現在、異常気象の影響も相まって施設内の環境の悪さは甚大なものがある。食堂の換気扇の修繕、エアコンの設置などの措置が必要では。

星教育長

食堂の換気扇は交換部品がなく修理ができない。昨年網戸を設置



交換部品がない食堂の換気扇

して空気の循環を良くする対策を講じた。現在扇風機3台で対応しているが、足りないと思っている。エアコンについては冷風機やスポットエアコンなど、何が一番効果的なのか、研究してみたい。

○再質問

浴室の換気扇を大きいものと交換したが、脱衣場の換気ができずあまり変化がない。また部屋の窓が一枚ガラスのため冬は結露がひどいなど今後の改修を考える中で改善が必要では。

星教育長

毎年春・秋に体協と打ち合わせをしている。大規模改修はできていないが、暑さ対策を含めて一つ一つ検証していく。

○再質問

新たに『パークゴルフ宿泊パック』を企画し実施しているが利用者は。今後、平日の利用者拡大の対応は。

星教育長

『パークゴルフ宿泊パック』はまだ実績が無い。利用者については、現段階では昨年と同等の状態だが、平日の利用が少ないのは事実。体協には数十団体が加盟している。各協会が町外の団体との繋がりが多く、体協加盟団体とともに誘致活動に直接歩くことも必要だと考える。

問 大通りの歩道の水たまりは

答 今年度から750m

問 予約型乗合タクシーの可能性は

答 課題解決に協議中

問 道路の冠水対策は

答 開発にも話を



酒向勤議員

雨天時など歩きにくい対策は

大通りは先陣を切つてバリアフリー化され注目を浴びたが、現在は水たまりや砂などがたまる所があり、歩きにくいところがあるが、

伊藤町長

平成10年度から5ヶ年間で1120メートルの工事をした。大変足にやさしいゴム舗装で、通行される方にとっても、不安が解消される利点がある。

早いところで14年経過して舗装のへこみ、ゴムの劣化が進んで現在の現象が出ている。



水たまりができる状況

地元自治会からも意見をいただいている。今年度から、舗装延長750メートルを考

えており本年度110メートルを発注しており順次補修を進めていく。

○再質問

つなぎ目が口を開いているが。

伊藤町長

手法として今のゴム舗装の上にオーバーレイするという方式で改修する。

今と同様に色分けをして、舗装のへこみが無く歩行者がつかずかないように改修を今年から手がけ、今後順次進めていく。

乗車人員とバスのバランスが悪いようだが

利便性なども考え予約型乗合タクシーの調査もする必要があると

思うが、考えを伺いたい。

伊藤町長

現在、それぞれの実情に応じた路線バスのあり方について構想案を作成中である。

バス停留所から離れている住民の方への対応、空車の対策、既存バスの車種検討など

多くの課題があり、加えて交通手段の無い住民の足の確保も考慮する必要がある。

解決策の先進事例ではあるが、予約制によるデマンド型、フレックスタイプ、乗り合いタクシー型など様々な手法による交通体系が導入・実践されているので、参考にしながら、本町にふさわしい地域公共交通の構想案を関係機関と相談し示していきたい。

○再質問  
いつ頃からの考えか。

伊藤町長

これまで同様に残すところは残す。その新しい方法をどの区域まで認めるのかの二点、考えなければならぬ。

細かなことを今精査しているのでもとまり次第、まず地域公共交通会議に示してご意見をいただいてから成案にする手法を取っていく。状況が変わったりしているのでもいつまでとは言えないが早い時期に検討したうえで進めていきたい。

夜間の冠水で通行できないことがあったが

町道などの夜間の冠水はどのように把握しているのか。

また、高速道路により水の流れが変わったと言われているが具体的に調査の必要があると

考えるが。

伊藤町長

豪雨災害に対する対応としては防災情報の確認を行い、昼夜・休日問わず、豪雨状況により被害が想定される河川を中心に適宜巡回を行っている。

河川が溢水し道路冠水の危険性がある場合に通行止め等の対策を行っている。

予防策として、現地調査や関係機関との情報の共有を図りながら、排水路床下げ、流下能力確保、土のう設置など安全対策をしている。国道の冠水では国の方も直線的に流すなど改修を計画している。

それらを含めて上流部分についても調査なり、改修できるものは速やかに改修していただくように開発建設部の方にも話をしていきたい。



虻川政義議員



**問 上下水道施設の耐震化と剣淵川の洪水対策は**

**答** 耐震化は大丈夫と判断、洪水対策は今後も要望

**問 学校給食費の助成をしては**

**答** 近隣と比べて安い方であり、現時点では難しい

**問 介護報酬の改定による変化は**

**答** サービス量は従前と大きく変わるものではない

**防災対策は**

大規模災害が予想される中、水道、下水道の施設等の耐震化を計画的に進めることが急がれると思うが、本町の基幹施設の耐震率はどのようになってきているのか。

また剣淵川の洪水対策も伺いたい。

伊藤町長

東丘浄水場は新耐震技術に適應し、地下埋設型ろ過池、排水池も簡易水道事業認可変更にあわせて耐力度試験を実施し、コンクリート構造物としては健全であるとの結果から、耐震化は適應しているかと判断している。

下水道は昭和62年度から終末処理場の建設に着手し、新耐震基準を満たしており、耐震化は大丈夫だと判断している。

剣淵川の洪水対策だが、関係機関に対し、

柳切りを早く実現してほしいと申し入れをしている。本年度から総合振興局の土別の出張所では、上流地区と下流地区を分けて、それぞれ実施をするという方針に変えていただいた。

今年は寒川橋から下流に向け、柳等の伐採と堆積土砂の搬出を、900m実施していただいたので引き続き今後にも要請、要望を重ね、早期に柳切りが実現し、きれいな川になるよう努力したい。

**給食費の補助を**

厚生労働白書は、出生動向基本調査を紹介している。夫婦の理想の子どもの数、予定している子どもの数は、いずれも2人以上である。理想の子ども数を持たない理由として「子育てや教育にお金

がかかりすぎるから」が60・4%と最多で、

若い世代ほど割合が高くなる傾向がみられた。夫婦は出生意欲を維持しているが、その実現は難しい状況で、政治や経済的要因となっていることが白書で浮き彫りになっていった。

自治体が学校給食費の助成をするところが広がって来ているが、本町でも実施しては。

星教育長

給食費は他の市町村と比較して安い方であり、学校給食費の助成は現時点では難しいものと考えており、今後の課題として検討していきたい。

**介護報酬の改定による変化は**

効率化と重点化を謳う社会保障・税の一体改革、中でも介護分野では何を効率化していくのか。

介護保険導入から10年余り、この間ずっと

続けてきた軽度者の排除という流れを政府はさらに加速させようとしている。

2025年までに要介護認定者数を現行ベースより3%減少させるといつ削減目標を、先に決めてしまい、あとはどうやって減らすかに知恵を絞る。

こんなやり方では、介護が必要な人を制度から排除することになりかねない。

①生活援助の時間区分の見直しにより従前の60分程度や90分程度の生活援助が提供できなくなるのでは。

②訪問介護では時間区分が見直されたが、介護予防訪問介護のサービス提供時間に変更はあるのかを伺いたい。

伊藤町長

生活援助の時間区分が20分から45分未満と、45分以上に見直されている。

これは必要サービス

量の上限等を示したものではなく利用者のニーズに応じた必要なサービスの提供が行われるものとなっており、従前と大きく変わるものではない。町としても今回の区分変更の際し、今までと変わらない円滑な生活援助の継続が図られるよう努めてきたところである。

介護予防訪問介護には、サービス提供時間に変更が生じることはなく、利用者に対するサービス提供時間の維持と、サービス計画の整合性を図るよう指導に努めたい。

**こんな質問もつきました。**

**問** 管理主義の強化に  
関して所見は

**答** 現場として必要と認めるべきことは、きちんと認めるべき。

※紙面の都合上、概略のみの掲載です。

# 行政報告

## 産業振興

### 農産漁村活性化

### プロジェクト支援交付金

正式に事業が開始し、木質バイオマスに係る燃料製造施設と熱源供給施設、地域資源活用交流施設（イベント広場）に係る実施設計委託の発注を終え、今後、適宜工事を発注してまいります。

### 有害鳥獣関係

6月29日に和寒・剣淵広域鳥獣被害防止対策協議会を設置し、今後広域による農林業被害の防止対策や地域住民の生活環境保全等に万全を期して、広域有害鳥獣焼却施設は、今後、実施設計の完了を待って工事を発注してまいります。

## 保健福祉

### 保育所

保育所耐震等改修工事は、6月に工事着手して以来、保護者のご協力を

いただきながら、園児の安全を第一に順次、保育室の耐震化を進めており、今後も細心の注意を払い、11月末の完成をめざし進めます。

### にれの大樹祝金

喜寿51名、米寿22名、白寿3名、大樹3名となっており、あわせて79名の方々に贈呈しました。

## 住民

### 美しいまちづくり運動

町民参画による協働のまちづくりを進めていますが、その実践団体である和寒町フラワーロードボランティアクラブが、北海道開発局長の道路功労者表彰を受賞されました。

### 保養センター

4月から毎月1回「かわり湯」を実施し、利用者の皆さんから大変好評をいただいています。

## 建設

### 河川改修

二度にわたる大雨被害を受け災害の復旧に速やかに取り組むとともに改修を進めている「ワツカウエンナイ川」は、周辺流域の安全確保を図るため改修区間を延長するよう補正を計上しています。

## 総務

### 光回線導入

光回線網の整備に向けて調整作業にあたることで、今回整備予定以外の地域も、光回線の拡大を要望していきたいと思っております。

### TVh視聴

TVh（テレビ北海道）放送にかかる和寒中継局整備工事は、10月の正式開局に向け作業を進めています。

西和サテライト局も、TVh放送を地域住民が視聴できるよう整備を行

うべく補正を計上してまいります。

## 教育

### 舞装束の更新

「稚児舞」は、長年の使用により更新が望まれていた舞装束がこのたび一新され、過日の和寒神社例大祭には、新しい装束姿で雅やかな稚児舞が奉納されました。

### 指定文化財の解除

推定樹齢が1千年以上といわれていた巨木「東和ミズナラ」は、傷みも激しく8月16日の強風により倒木となり、指定文化財から解除されました。



# 第5回町議会臨時会

10月19日  
開 催

## 表彰

(全員賛成同意)  
和寒町表彰式に表彰される方々が決まりました。

功労章  
○勝野 弘嗣様(三笠)

功労表彰

○合田 鉄雄様(三笠)  
○藤田 房雄様(南町)  
○伏見 豊治様(中和)  
○杉澤 茂 様(日ノ出)  
○笠嶋 彰英様(西町)

善行表彰

○安部 常雄様(北町)

## 委員会付託

【平成23年度和寒町各会計歳入歳出決算認定】

一般会計他5会計の決算認定については、9月定例会で設置した決算審査特別委員会に付託され、閉会中に審査することになりました。

## 工事請負契約

(全員賛成同意)  
ワッカウエンナイ川改修工事請負契約の締結に同意しました。

## 財産の取得

(全員賛成同意)  
森林整備及び木質バイオマス燃料製造施設で使用するため、高性能林業機械(グラップルハーベスターと、フォワーダ)2台を財産として取得することに、それぞれ同意しました。



フォワーダ

## 補正予算

【一般会計補正予算】  
(7名賛成可決)

起業化支援事業補助として3000万円の増額補正、和寒剣淵広域有害鳥獣施設焼却施設整備工事にあたり4449万円の増額補正等が行われました。

## ◆討論◆

一般会計補正予算の採決にあたり、起業化支援事業補助の内容について討論が行われました。

起業に向けた準備・今後の経営等が不安視されることから、2名の反対討論が出されました。

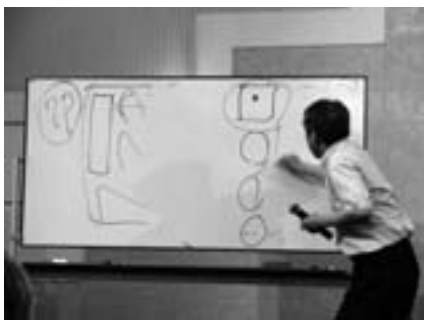
またそれに対して、今後に向けての期待を込めるなど、それぞれの意見で3名の賛成討論が出されました。  
(紙面の都合上、細かい内容は省略させていただきます。)



## ◇議会広報研修会

8月23日に札幌市で開催された議会広報研修会に参加しました。

「親しまれる議会広報づくり」と題し、(株)エイクリエイトの城市創(じょついちはじめ)氏から講演を受け、編集作業の注意点などをホワイトボードを使って説明しました。



城市氏による講演の様子

ていただきました。

また、和寒町の議会だよりを添削していただき、見出しの付け方やレイアウト等を学んできました。

## ◇農作物生育調査

8月27日に農業委員、JA、町理事者など、町内関係機関合同での農作物生育調査が行われ、本議会も同行し、水稲・南瓜・大豆などの圃場を視察してきました。

## ◇議員報酬及び定数調査特別委員会視察

10月15日から16日にかけて、愛別町・仁木町・積丹町の議会を視察してきました。

今後の議会運営方法の在り方について参考にするため今回の視察を行いました。

各議会の運営の仕方について、1委員会制、2委員会制のメリット・デメリットや議会活性化の取り組みなどを話し合いました。

# 議員報酬及び定数調査特別委員会

## 「三笠山大学と町議会の懇談会」



平成24年9月4日開催



9月4日に公民館において、三笠山大学生との意見交換を行いました。今日まで多数傍聴をいただいている三笠山大学の皆さんに、定数・報酬に関するご意見を伺いたく、今回の開催に至りました。

限られた時間の中でしたが、定数・報酬に関するものだけでなく、多数ご意見をいただきましたので、主な内容をお知らせします。

### アンケート結果（抜粋）

◆参加者数 50人中 39人記入 78.0%

○議員月額報酬についてどのようにお考えですか。

適当な額	少ない	多い	わからない	未回答	合計
16人	0人	12人	9人	2人	39人
41.0%	0.0%	30.8%	23.1%	5.1%	100.0%

○議員定数10名にいつてどう思いますか。

現状でよい	削減すべき	増やすべき	わからない	合計
18人	16人	1人	4人	39人
46.2%	41.0%	2.6%	10.2%	100.0%

#### 【削減すべき数】

1人削減	4人
2人削減	12人
3人削減	0人
計	10人

#### 【増やすべき数】

1人増	0人
2人増	1人
3人増	0人
計	1人

#### ご質問・ご意見

○議員定数は、人口によって変わるのか。

△今までは人口によって上限定数が決まっており、2千人以上5千人未満は14人となっている。ごこの町村も2〜4名下回っている。

なお昨年、法改正により定数の上限は撤廃されている。

○議員報酬と定数は、他町村と比較しても妥当だと思ひ。

その他に次のようなご意見・ご質問も出されました。

▼議場での質疑応答が聞きづらい。

▼中学校跡地に、チップ工場の話があったがどうなったのか。

▼中学校跡地に茨城県から来て野菜をつくる話はどうなったのか。

▼企業誘致による人口対策や、商店街が活性化するようになことを行つてほしい。

### 編集後記

節電の夏を何とか乗り越え、習慣になった節電を今後も継続しようと思うこの頃ですが、今年の夏は観測史上最高の猛暑となり、熱中症にかかった方もいらしたと思います。

更に夏場の二度の大雨により、農作物で60戸、農地・農業用施設10地区22ヶ所、河川・道路40ヶ所と多大な被害が発生しました。

作物によっては、豊作や猛暑による価格低迷もあり、出来秋を喜んでばかりはいられない状況です。

さて69号が今年最後の広報誌となります。より多くの皆さまに読んでいただけたらと毎号研鑽しています。が、今後とも皆さまの忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

(美恵)